

<p>課題名</p> <p>定位的脳凝固術時のフレーム装着前のフェンタニルの鎮痛効果と安全性の検証</p>
<p>(1) 新規に導入される医療</p> <p>(2) 保険診療の対象とならない医療</p> <p>(3) 患者に不利となる可能性のある医療</p> <p>(4) ○その他</p>
<p>主治医</p>
<p>概要</p> <p>視床等をターゲットとした定位的脳凝固術は、今年は6ヶ月で12件が行われる予定で、手術件数は増加してきている。手術は局所麻酔で行われるため、フレーム装着（4点ピン固定）時に局所麻酔薬を使用しても患者に疼痛・苦痛を伴うことが多い。2024年4月より山岡先生のご協力により、フレーム装着前にフェンタニルを静注し、鎮痛効果が得られているように思われるが、正確な評価ができていない。</p> <p>今回、フェンタニルの有効性・安全性を評価するため、前向き研究を計画した（詳細は別紙）。フェンタニルは、「局所麻酔における鎮痛の補助」として保険適応となっており、保険適応内の使用方法となる。定位脳手術用フレーム装着前にフェンタニルを使用した報告は渉猟した限りみられなかった。また、フェンタニルは比較的安価な薬剤である。結果については、2025年2月7-8日に行われる日本定位・機能神経外科学会への発表ならびに論文報告を検討している。</p>